

赤十字国際ニュース

2022 年 第 52 号 2022 年 8 月 5 日
(通巻 第 1516 号)

日本赤十字社 国際部

東京都港区芝大門 1-1-3 TEL 03-3437-7087 / FAX 03-6679-0785

E-mail: kokusai@jrc.or.jp <https://www.jrc.or.jp/>

【速報 22】 ウクライナ危機：

国際赤十字に 3 億円の追加資金援助を実施

日本赤十字社は、ウクライナでの人道危機対応及びウクライナからの避難民を受け入れる周辺国とその他の国々における赤十字の救援活動を支援するため、国際赤十字・赤新月社連盟(連盟)、赤十字国際委員会(ICRC)の緊急救援アピール(資金援助要請)に対して、3 億円の追加資金援助を実施しました。連盟と ICRC に 1 億 5,000 万円ずつ送金し、各地で赤十字の中立な人道支援活動に使用されます。これまで、日本赤十字社から連盟と ICRC へ送金した合計額は 50 億 2000 万円(連盟・ICRC とともに 25 億 1,000 万円ずつ)にのびります。

3 月 2 日から受付を開始しました「ウクライナ人道危機救援金」は、現在も多くの皆さまからのご支援をいただいております。皆さまの継続的なご寄付の下、これまで同人道危機に対し 50 億円を超える国際赤十字への送金ことができましたこと、心より感謝申し上げます。



©ウクライナ赤十字社

支援物資を準備するウクライナ赤十字社ボランティア

■ウクライナ赤十字社の活動

紛争が激化して以来、危機の中心でウクライナ赤十字社は国内 183 の支部に所属する 500 人の職員と 8,000 人以上のボランティアと共に最前線で支援活動を展開してきました。これまでに約 548 万人の人びとへ支援を届けています。（7 月 14 日現在）

○救援物資等の配付・・・19,815 トン

（1,487,084 個の食料セット・790,668 個の衛生用品キット・300 トンの医薬品等）

○現金給付・・・48,689 人（合計約 3.4 億円）

○避難支援・・・264,585 人

○救急法（応急手当）の研修実施・・・59,973 人（+オンライン形式での受講 534,000 人）

○こころのケア・・・25,030 人（+オンライン形式でのケア 15,100 人）

○地雷や不発弾などのリスク啓発等・・・2,233 人



ウクライナ東部地域で避難の手助けをするボランティア

■連盟および周辺国赤十字社の活動

8 月 1 日現在、累計 1,000 万人がウクライナから国外へ避難しています。（出典：UNHCR）

連盟や、紛争の影響を受けている周辺国赤十字社（ポーランド・ハンガリー・スロバキア・モルドバ・ルーマニア・ロシア・ベラルーシ）ではこれまで 114,000 人以上のボランティアと共に、避難民のニーズに合わせ、375 万人の人びとへ支援を届けました。（6 月 30 日現在）

連盟の活動

- 救援物資等の配付・・・164,000 トン以上（675,000 人へ衛生用品を提供）
- 現金給付・・・141,000 人以上（約 17 億 3000 万円）
- 救急法（応急手当）の研修実施・・・85,000 人
- こころのケア・・・289,000 人
- 一時避難所や宿泊施設の提供・・・165,000 人

周辺国赤十字社の活動（一部）

・ポーランド赤十字社

404,523 人以上の避難民に対して支援を実施。これまで 4,680 トンの救援物資（389,753 人に食料、水、衣料、生活必需品、71,870 人に衛生用品）を提供。仮設住宅に関する情報提供や、支部が所有する建物を避難民の宿泊施設として提供。

・ハンガリー赤十字社

227,545 人以上の避難民に対して支援を実施。国境付近や避難民が通過する地域で、サービスポイントを運営し、簡易ベッド、毛布、家庭用品等の必需品、食料、新型コロナウイルス感染予防の用品等の物資を配付。国境付近の大きなサービスポイントでは一時避難所を設置し、保健チームを派遣し医療支援やこころのケアを実施。

・スロバキア赤十字社

173,675 人以上の避難民に対して支援を実施。紛争激化の初期段階から、国境 3 つサービスポイントを設置し、身体を温める場所の提供や、必要なサービスの紹介、応急処置などの緊急支援を提供。現在では語学トレーニングや教育・法的な支援なども幅広く実施。

・モルドバ赤十字社

8 の支部で人々が食べ物や衣服を避難民へ寄付できる場所を設置。温かい飲み物や食品、マスクなどの物資配付や宿泊場所の提供を実施。

・ルーマニア赤十字社

国境沿いのサービスポイントで衣服や子どものおもちゃ、衛生キットや SIM カードなどの必需品を配付。現金給付の手続きも同時に行っており、これまで 38,000 人の避難者が現金給付プログラムへ登録済み。

・ロシア赤十字社

55 の支部が今回の人道危機に対応。130 の救援物資提供場所で活動中。これまで 1,600 トンの救援物資を避難者に配付。100 人のこころのケア担当者が各避難場所できこころのケアを提供。

・ベラルーシ赤十字社

3,477 人の避難民に対して支援を実施。主に一時避難所における食事やこころのケア等の提供（こころのケア：3,611 回、応急手当：497 人、食事の提供：918 回 等）。

一時避難所が閉鎖し移動せざるを得なくなってしまった避難民に対して、移動費や情報の提供などを実施。



ルーマニア国境付近で避難民の携帯電話に SIM カードを入れる手伝いをするボランティア



ベラルーシ赤十字社が支援した避難施設に住む家族

赤十字はこれまで紛争の影響を受けた何百万人もの人びとへ支援を届けてきました。しかしながら、長期化する紛争により、ウクライナとその周辺国の支援ニーズは未だ計り知れず、更に拡大し、変化することが予測されます。緊急支援が必要な今、そして復興支援が必要になるこれからも、赤十字は助けを必要とする人びとに少しでも多くの支援を届けられるよう状況とニーズに応じた支援を展開していきます。

「ウクライナ人道危機救援金」

受付期間： 2022 年 3 月 2 日（水）～2022 年 9 月 30 日（金）

用途： 国際赤十字・赤新月社連盟、赤十字国際委員会、および各国赤十字・赤新月社が実施する、ウクライナでの人道危機対応及びウクライナからの避難民を受け入れる周辺国とその他の国々における救援活動を支援するために使われます。

[ウクライナ人道危機救援金へのご寄付はこちら](#)

